

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 21 日 作成

事務事業名		合志庁舎空調設備更新事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	中島 正剛				
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	財政課	担当者名	太田 徹				
	基本事業	90	公有財産の管理運営			所属班	財政班	(内線)	1233				
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	7	事業連番	11505	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 ~ 22 年度)			コスト削減優先度評価結果				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・合志庁舎は竣工から20年が経過し、一般に設備機器・機材は15年程度で老朽化による設備再生を行う時期と言われており、空調設備も更新の時期を迎えている。また、故障等による修繕も部品の供給終了のため限界に来ている。さらに、空調熱源方式の冷媒である特定フロン(R-22)がオゾン層を破壊するとして既に生産が中止されており、新冷媒に対応する空調熱源設備に更新することが迫られている。地球温暖化対策からも運転効率の向上(省エネ機器への更新を含む)による温室効果ガス排出の抑制を行わなければならない。
【業務の流れ】	平成21年度中に実施設計を完了し、平成22年度で改修工事を実施する。また、工事監理業務を委託する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	保守点検受託業者からは、(専用部品がなくなってきていることから)代用品では根本的な対応ができないため、空調機の使用に支障を来す恐れが現実(氷蓄熱ユニット及び中央制御装置において顕著)に近づいていると指摘されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志庁舎空調設備改修設計業務委託を行った。	入札により施工業者を決定し、改修工事(21年度繰越分1階部分、22年度2・3階部分)を行う。また、工事監理業務を委託する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
→ ア:平成22年度工事費	千円 イ: 千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志庁舎空調設備	→ ア:契約電力(デマンド)値 kw イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
環境性、経済性、安全性をもった空調設備となる。	→ ア:合志庁舎電気(基本)料金 円 イ:
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
環境性、経済性、安全性をもった空調設備をめざしているが、特に電気料金の負担を抑制する必要があるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	千円				3959	109,600		
⑤ 対象指標	ア	kw				269	250		
⑥ 成果指標	ア	円				446553	415,012		
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円				27,418		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円				3,959	82,182	
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	3,959	109,600	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人				1	1	
延べ業務時間		時間				10	120		
(B)人件費計		千円	0	0	0	40	478	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	3,999	110,078	0	0

総トータルコスト
全体計画
21 ~ 22 年度
113,559
113,559
1
130
517
114,076

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	合志庁舎空調設備更新事業	所属部	総務企画部	所属課	財政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は、事業内容のとおり実施設計が完了し、平成22年度も1期工事完了し計画通りに進捗している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

無し